

ニュース & トピックス

あなたのまわりの身近な話題を
待っています。
広報広聴係までご連絡ください
(tel 25-9688)。



ふるさとの海を大切に

今元小学校（金澤精子校長）の5、6年生児童による長井浜の清掃が行なわれました。これは清掃活動を通して、ふるさとの海を大切にする心を育てようで行なわれているもので、毎年、海開き前に行なわれる同校の伝統行事となっています。今年は児童と保護者や地域の住民のほか苅田海上保安署の職員も参加して砂浜に打ち上げられたゴミや流木を拾い集めました。

全校児童で梅の収穫

6月1日、椿市小学校（土屋富子校長）で同校に隣接する梅林の梅の実ちぎりが行なわれました。手が届かないような高い所になった梅の実は、上級生が枝をたぐり寄せたところを下級生がちぎるなど全校児童が協力して、昨年の収穫量よりも100キロ多い250キロの梅の実を収穫することができました。収穫された梅は子どもたちがお待ちかねの梅ジュースや梅ジャム、梅干などに加工されました。



自分で植えたお米が食べたい！

6月5日、泉小学校（田下弘道校長）の5年生が泉校区をよくする会、泉校区花いっぱい会など、地域住民のみなさんの指導を受けながら田植えを体験しました。実際に米づくりの経験をする事で、どのようにしてお米が作られるのかを学ぼうと毎年行なわれているもので、秋に収穫されるお米は、家庭科の調理実習で使用される予定です。田植えを終えた児童たちは「早く自分で植えたお米が食べたいです」と話していました。

ま ち の 話 題



寺小屋で伝承遊びとニュースポーツ

6月9日、日吉神社（羽根木東区）で行なわれている寺小屋で子どもたち40人と保護者など大人20人が参加して「伝承遊びとニュースポーツのつどい」が開催されました。会場の境内では日本レクリエーション協会の会員も参加して子どもたちと空き缶つりやディスクゲッターを楽しみました。また、子どもたちはナイフの使い方を大人に教わりながら、竹を削って空き缶つりに使う竿づくりを行ないました。

海外からインターネット技術を視察

6月19日、インターネット技術を学ぶため国際協力機構（JICA）が主催する研修に参加していた、アジア、南米、アフリカなど世界各国からの技術者や政府関係者7人が視察のため行橋市を訪れました。研修場所の市役所の電子計算機室ではコンピューターの管理を行なうメーカーの担当者が行橋市のコンピュータシステムについて説明を行ない、参加者は熱心に耳を傾けていました。



商店街で就業体験

北九州市の思永中学校の2年生がえびす通り・ハミング通りの両商店街で就業体験を行ないました。生徒たちは就業体験を前に学校で接客マナーの研修を受けるなど本番に備えてきましたが、最初の内は慣れない接客に戸惑っていた様子でしたが、買い物客に一生懸命商品をすすめていました。また、商店街では生徒たちによる小倉祇園太鼓の演奏が行われたほか、商店街関係者と協力して、長さ5メートルの巨大焼き鳥づくりに挑戦しました。



タイからの留学生が帰国のあいさつ

行橋ロータリークラブの交換留学生で昨年8月から行橋高校に留学していたタナポーン・ウォンサムランさん（右から2人目）。母国のタイへ帰国を前にした6月19日、ロータリークラブ関係者とともに市役所を訪れました。八並市長から行橋市での思い出について聞かれると、タナポーンさんは「同級生にタイ語を教えることが楽しかったです」と行橋での留学生生活を振り返っていました。